

# 一物二価状態を捉える ～米ドル債投資の勧め～

---

2022年6月17日  
債券営業部

# はじめにお読みください

本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。

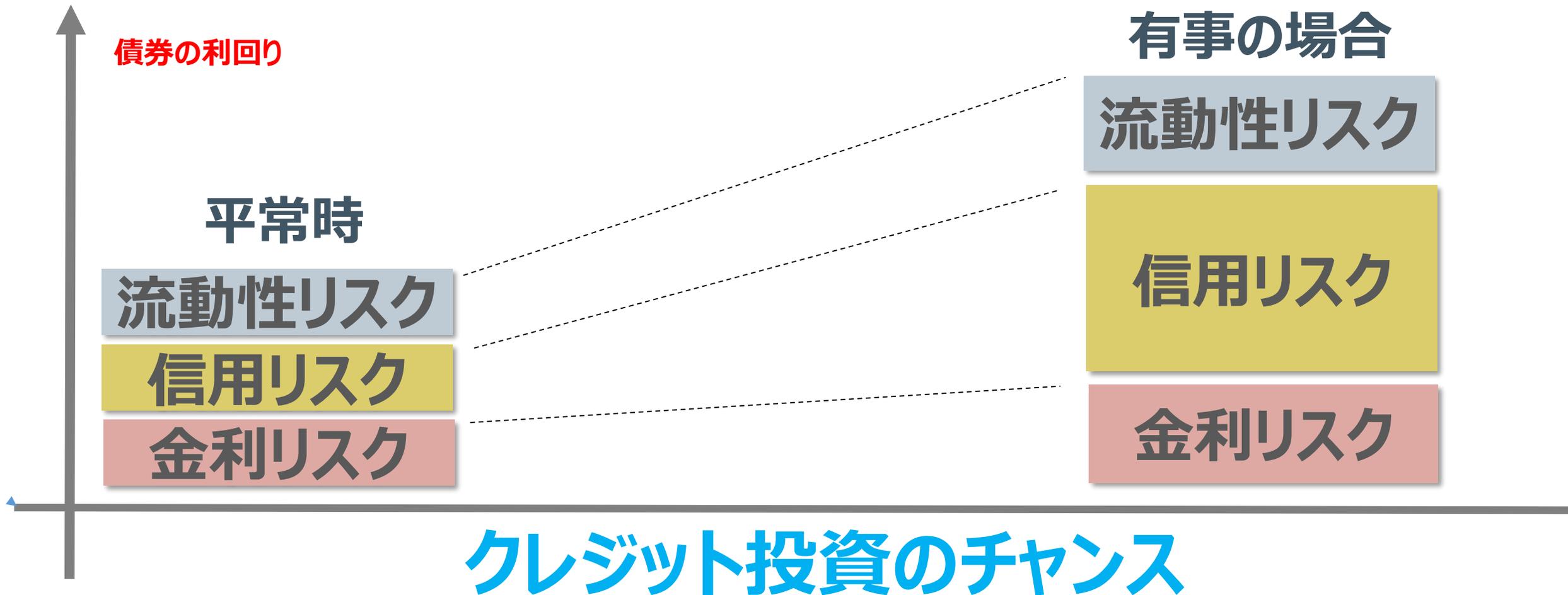
本資料は、当社が信頼できると判断した情報源から取得した情報に基づいて作成いたしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

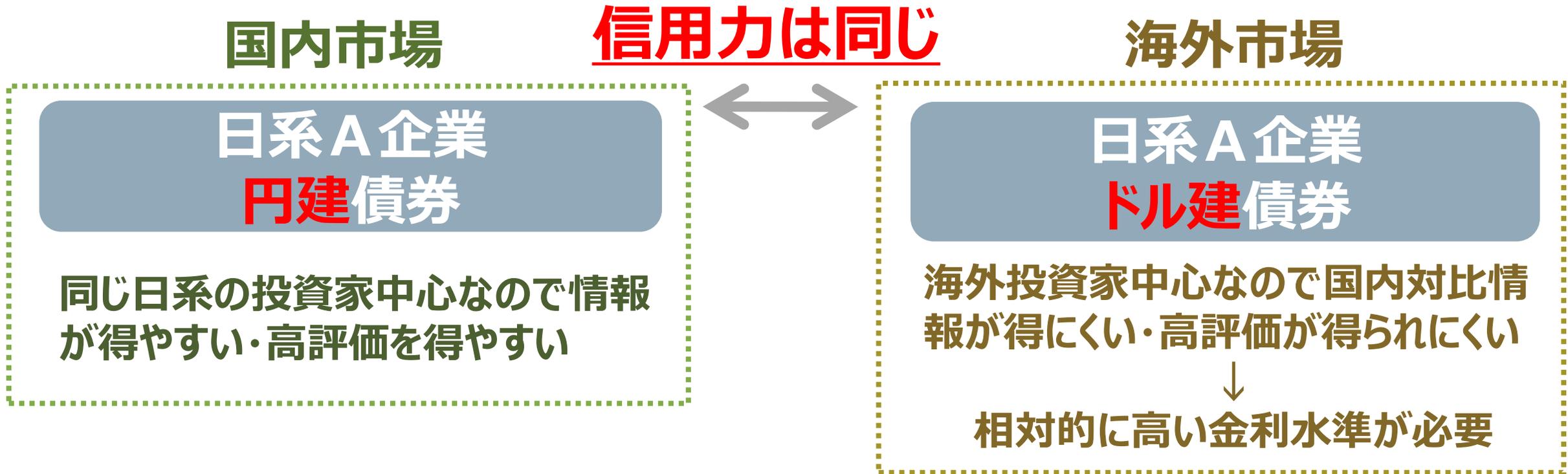


# 債券に内包されるリスク

$$\text{債券の利回り} = \text{金利リスク} + \text{信用リスク} + \text{流動性リスク}$$



# 一物二価の状態とは？

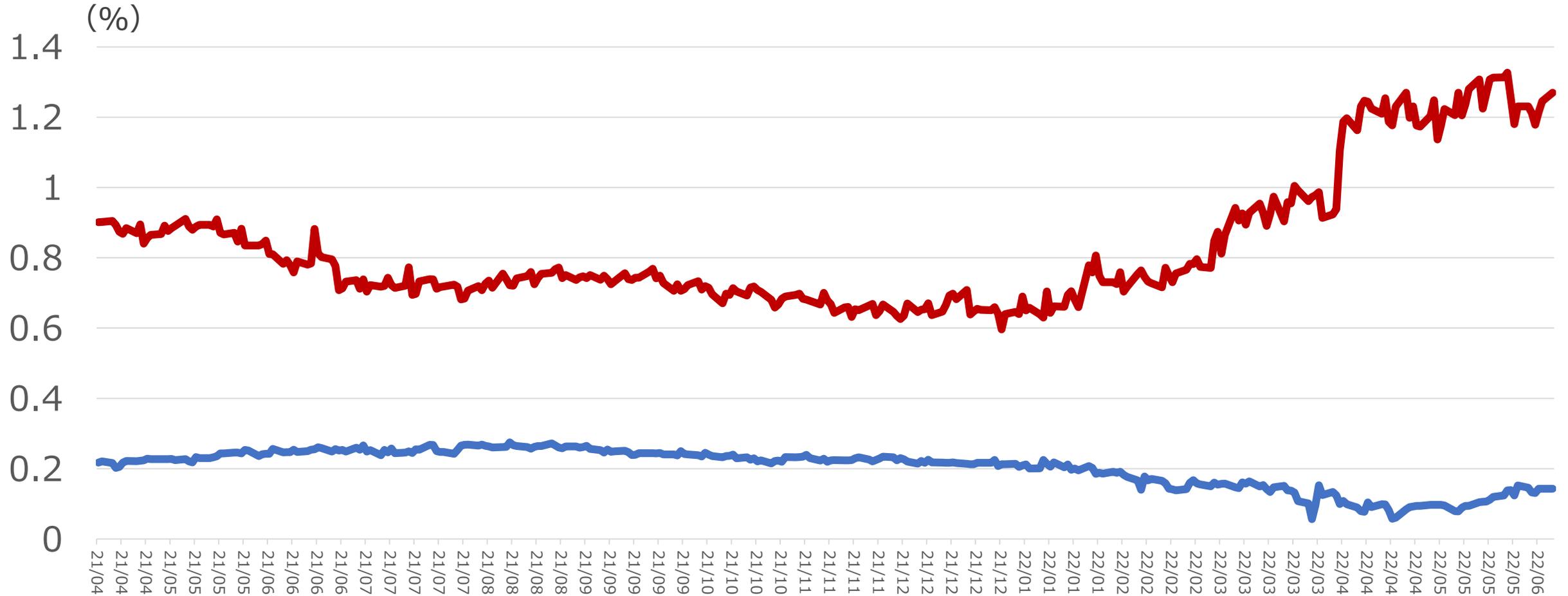


① 円金利・ドル金利の水準

② 市場参加者の違いなど

等からそもそも円債と外債は『一物二価』の状況ではあるが、外債のспредは円債のспредに比べて時としてボラティリティが高くなることもある。

# 一物二価の状態とは？



— オリックス円債  
(対円スワップスプレッド)

— オリックスドル債  
(対米ドルスワップスプレッド)

# ホームカンントリーバイアス

## 「なんとなく安心だろう」が生み出す内外価格差

### ① 情報収集コストの存在

情報収集にかかる時間（コスト）は、国内債と比べ相対的に時間がかかる（コスト高）。それなりの人員・組織体制を充実させる必要。

### ② 情報の非対称性

どんなに情報通信技術が発達し、人の交流が深まっても、外国企業を理解することは難しい。

### ③ 為替リスクの存在

会計上、債券部分と為替部分を個々に評価する場合も。金利が低下し、金利差縮小で円高になったとしても、金利低下による価格変動の上昇分より為替変動による下落分が大きくなることが想定される。

# 外国債（米ドル）の条件例

※2022年6月7日時点（為替：132.80円/米ドル）  
※利率、利回りを米ドル建てベースです。（為替・税金の考慮をしていません）  
※購入単価は、額面100に対する価格です。  
※損益分岐点為替はあくまでも概算値です。  
※条件の詳細は担当営業員までお問い合わせください。

## 発行体：三菱UFJフィナンシャルグループ

利率	年3.741%（税引前）
償還	2029年3月7日
残存期間	6年9ヶ月程度
購入単価	98.40%
利回り	4.01%程度（複利）

**損益分岐点為替：104.57円/米ドル程度**

## 発行体：オリックス

利率	年2.25%（税引前）
償還	2031年3月9日
残存期間	8年9ヶ月程度
購入単価	87.10%
利回り	4.01%程度（複利）

**損益分岐点為替：96.82円/米ドル程度**

# お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

## 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.26500%（但し、最低2,750円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大0.99000%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された購入時手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。

## ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会